

～10年後の黄金地区に役立ちたい！～鶴岡市の税金をテーマに自分たちの将来を考える

鶴岡市立黄金小学校教諭 6学年 白幡 直人

実施年月日：平成31年1月15日～1月18日 9名

1 実践計画・指導のねらい

本単元で児童に考えさせたいことは、以下の2点である。一つ目は、鶴岡市の税金がどのように使われているのか具体的に把握し、税金の有用性に気づくこと。二つ目は、税金との関わり方を自分事として捉え、10年後、自分が黄金地区にどのように役立てるか考えることである。

6年生児童は10年後22歳となる。18歳からが成人となる未来の時代において、社会人として自己の判断のもとに生活を送ることになるだろう。本校6年生児童は、自分たちが生まれ育った黄金地区に強い愛着があり、将来何かしらの形で役に立ちたいと強く考えている。そこで、今年度の総合的な学習の時間のテーマを「10年後の黄金地区に役立つためには…」と設定した。本単元は、総合的な学習の時間と社会科を横断的に組み合わせることで、自分の将来について考えるきっかけとしたいと考える。租税教育を軸に、自己の将来について地元である黄金地区の未来と合わせて考えていく。

2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・租税教育を通して、税金とその役割について知り、租税教育のきっかけとする。	○ <u>税金とは何だろう。</u> ● 税金には、たくさんの種類があることがわかった。 ● 大きく国税と地方税に分かれる。 ● 一億円は思ったよりも重かった。 □ 税のビデオ「マリンとヤマト」 □ 租税教室 公益社団法人鶴岡法人会青年部
2	・鶴岡市の平成30年度予算案から、鶴岡市の税金の使い方をつえる。	○ <u>鶴岡市では税金をどのように使っているのだろう。</u> ● 鶴岡市の予算総額が思ったよりも多くて驚いた。 ● 予算の中には、地方税の市税と国税の地方交付税がある。 ● 鶴岡市では、主要事業を決めて計画的にお金を使っている。 ● 税金は市民のために使われていることがわかった。 □ 広報つるおか特集号 平成30年度鶴岡市予算特集
3	・自分たちの生活する黄金小学校にも税金が使われていることを知り、納税の義務について捉える。	○ <u>黄金小学校でも税金は使われているのだろうか。</u> ● 学校の中には税金が使われているものがたくさんある。 ● 黄金小は、学校のために税金を計画的に使っている。 ● 税金は絶対に払わなくてはいけない国民の義務で、納税の仕方には様々な種類がある。 □ 説明協力 鶴岡市立黄金小学校 校長 佐藤 健 □ 平成30年度黄金小学校配分予算
4	・10年後の黄金地区に役立つために、税金という視点から自分にできることを考える。	○ <u>税金という視点から10年後の黄金地区にできることは何か</u> ● 自分の立場に応じて、しっかりと税金を納めることが、黄金地区の発展につながる。 ● 10年後のために、今から税金についての知識を増やしたい。 □ 広報つるおか特集号 平成30年度鶴岡市予算特集

【指導のポイント】≪1時間目≫

租税教室を通して、税の種類や大切さについて考え、税金について考えるきっかけとする。実際に一億円のモデルを使用したところ、児童の興味関心に働きかけることができた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

広報つるおか特集号「平成30年度鶴岡市予算案」を、鶴岡市の税金の実態をつかむために使用した。自己の実生活と結びつけて思考することができ、実感をもって理解することにつながった。

【指導のポイント】≪3時間目≫

平成30年度黄金小学校配分予算をもとに、校長より本校の税金の使い方を説明いただいた。税金をより身近なものとして捉えることができ、納税の義務を理解することにつながった。

【指導のポイント】≪4時間目≫

過去10年間の市の予算状況について、税収を中心に分析した。税収の金額は変わっていないことから、納税の大切さに気がつき、自身の将来について真剣に考えることができた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 平成30年度鶴岡市予算特集(広報つるおか特集号)を効果的に活用できた。児童にとってもわかりやすかったようで、鶴岡市の主要政策と合わせて思考することで、税金がどのようなことに使われるのか、実感を持って理解することができた。
- ◎ 税金は実際にどのように使われているのか、鶴岡市の予算から小学校の実態につなげる単元構成は、児童の意欲を引き出すために有効であった。
- ◎ 総合的な学習の時間と社会科を横断的に学習することで、学習全体につながりがうまれた。様々な視点から、自己の将来と向き合うことができた。
- ◆ 税の種類をたくさん知り、名称を覚えることができたが、それぞれがどのようなことにかかる税金かわからないものが多かった。単元の導入段階で、税の内容を調べる等の時間を確保することで、より深まりのある学習につなげたと思う。
- ◆ 納税の義務を理解することはできているようでも、将来税金を納めるということが具体的にイメージすることは難しいように感じた。
- ◆ 本単元を4時間構想としたが、児童の学びの深まりを考えると、もう少し時間を確保して単元を構想するとよい。